# とどろ

平成22年1月28日

1月号

### 宮参りで新年がスタート







本校区の伝統として、小学生は始業式がある日の早朝に学校を 三方から取り囲む3つの神社に参拝する慣わしになっています。 PTA会長や副会長も参加して、全員がお賽銭をあげて、今年一 年の願い事をしました。今年も全員そろって参拝をすることがで き良いスタートがきれました。

## 収穫した餅米を全員餅つき







春に田植えそして秋に稲刈り・脱穀を経て勤労体験学習に取り組 んできた最後の仕上げは、餅つきです。子どもたち一人一人が杵 と臼を使った餅つきを行い、つきあがった餅をお母さんたちが適 当な大きさにちぎってくれたものを上手に丸めました。あんこ入 りのお餅もたくさんあり、慰労会が始まると、みんな美味しそう に食べました。やっぱりつきたてが一番です。

# 漢字・計算大会を実施

12日(火)に漢字・計算大会を実施し ました。冬休み中の学習習慣の定着を期待 して2学期までに習った内容が当日出題さ れたのです。みんな大変よく頑張っていま したが、イージーミスが目立ちました。

#### 狩猟・解体についての講話・実演







26日(火)の午前中に黒木智光さんから「狩猟とは。狩猟の 昔と今。免許状と許可証。狩猟の七つ道具。狩猟方法」の講演を していただきました。昼休みには、その日に捕れた雄鹿の解体実 演を山女荘に出向いて見学をさせてもらいました。狩猟は自然の バランスを保っていること、厳重に管理された態勢で行われてい ること。狩猟に限らず私たちは色んな命を戴いて生きていること から感謝の心を忘れず食べ残さないことなど多くを学びました。

### 今年も どんどや・もぐら打ち









毎年1月14日に行うどんどやは地域の方も楽しみにしている 行事です。どんどやについての話を受けた後、火が入れられ子ど も達の掛け声と共に勢いよく火柱が立ちました。みんな無病息災 と五穀豊穣などを祈願しました。夕方からは、数台の車に同乗し

# 五家荘の紅葉についての講演

て地域のすべての家庭を訪問し、もぐら打ちを行いました。

19日(火)に黒木計さんに五家荘の紅葉について講演をして 戴きました。本校の子ども達が見過ごしがちな身の回りのことに 深く見つめさせたいと計画しました。都会では見られない大自然 の変化が目の前で繰り広げられる光景に感動・自慢できる子ども を育てるため、日ごろ素晴らしい写真を撮影されている計さんに、 ご協力をお願いし、写真を大画面にして詳しいお話がありました。 感性・視点のすごさや、その場所に出向いての撮影される行動力 など子ども達の心にインパクトを与えて戴きました。

わざわざ遠くから観光客が、なぜ五家荘の紅葉を求めて来られる のかを深く見つめる良い機会となりました。







/// /// 校 長  $\exists$ 

1月23日に東京江戸川区の小学1年生の男の子が父親から暴行を受けて、死亡する痛ましい事件が発生した。「食べるのが遅い。」 〟という理由で、しつけのために殴る・蹴るの暴行を加えていた。全身にアザを見つけた歯科医の通報で学校や福祉事務所が家庭訪問 、をして父親に2度と暴行はしないという約束をさせたものの、その後も繰り返されていたようである。1年生の男の子は、父親や母、 親の悪口も誰にも言わず、助けを求めることもなく学校を長期欠席していたそうである。想うに、この男の子は何のために生まれ、 苦しみ、何も言えずに、最愛の母親の目の前で殺されたのかを考えれば、本当に悔しくてならない。たった7才の命しかなかった男 の子は、どんな思いをしながら死んでいったのだろう。この事件は近年多発する親による虐待の一例に過ぎないのである。その殆ど が、しつけの為に暴力を振るったと弁解する。小さな子どもは、親からしつけと称して暴力を振われても抵抗もできず、だれにも相 「談できないため周囲は気づかないことが殆どである。この状況を回避するため、子どもが虐待を受けているのではないかと思った者 >は、福祉事務所や市役所そして警察に通報する義務を法律で決められた。内容しだいでは親から隔離し、親権を剥奪することまでで きるようになってきている。間違って他人が虐待の通報をしても罰せられることはない。ぜひ地域全体で子どもの命を守って欲しい。 、と願うばかりである。裏面に「心あたたまる話」を掲載した。こんな親に出会えなかった男の子が、ふびんでならない。